

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

仙南匠の家

グループの名称

仙南建築匠会

直近採択グループ番号

04-0122-0102

(グループ代表者)

代表者名

高橋 良一

代表者印

代表者所属先

仙南ベニヤ株式会社

代表者所在地

宮城県亶理郡山元町大平字畑中9-2

代表者電話番号

0223-37-4011

(グループ事務局)

事務局事業者名

仙南ベニヤ株式会社 リメイクアーキテクト

事務局担当者名

高橋 浩二

印

事務局郵便番号

989-2383

事務局所在地

宮城県亶理郡亶理町逢隈田沢字早川66番地の1

事務局電話番号

0223-32-2280

事務局FAX

0223-32-2281

事務局担当者E-mail

rentaro2048@yahoo.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	仙南匠の家
2. グループの名称(必須)	仙南建築匠会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0122-0102
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	宮城県・福島県沿岸部
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	高橋 良一
7. グループ代表者の所属先(必須)	仙南ベニヤ株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	宮城県亶理郡山元町大平字畑中9-2
9. グループ代表者電話番号(必須)	0223-37-4011
10. グループ事務局事業者名(必須)	仙南ベニヤ株式会社 リメイクアーキテクト
11. グループ事務局担当者名(必須)	高橋 浩二
12. グループ事務局郵便番号(必須)	989-2383
13. グループ事務局所在地(必須)	宮城県亶理郡亶理町逢隈田沢字早川66番地の1
14. グループ事務局電話番号(必須)	0223-32-2280
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0223-32-2281
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	rentaro2048@yahoo.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	1	原木供給が海外からの資材の場合、申請の期限内に添付が不可能だったため登録を行ってない。
II. 製材・集成材製造・合板製造	3	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	2	
IV. プレカット	1	
V. 設計	2	
VI. 施工	9	
VII. 木材を扱わない流通	2	
VIII. I～VII以外の業種	5	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	福島県産材	福島県	県産木材証明制度	1	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸						
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸						
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	0 棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	配分された棟数を公平に分配する。余裕のある場合は、着工予定の早い施工者に優先する。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 仙南匠の家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県・福島県沿岸部
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 仙南建築匠会	(結成年) 2012年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0122-0102	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	耐震・耐風等級2以上・温熱等級4相当・維持管理等級3相当・劣化対策等級3相当など、長期優良住宅仕様とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	気候を踏まえ、夏の熱射対策として真南の日射角度を考慮したパッシブハウスとする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	屋根仕上げは黒系で統一する。また、玄関へはスロープを設置する。南面の軒の出を600mm以上、又は軒に代わる日差し除けを設置する。	◎
④①～③の背景	宮城・福島両県沿岸部であるこの地域は東日本大震災によって甚大な被害を受け、復興・再生に向けて取り組んでいる。気候としては海洋性気候の影響が強く、年較差、日較差が小さい為、日照時間が長い地域である。また福島県は杉を中心に桧・赤松など地域材としての資源が豊富で、管理・生産体制がしっかりしている。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	柱は福島県産材を100%使用する。 合板類は宮城県に工場を持つ、西北プライウッドのものを使用する。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構造材は(財)日本住宅・木材技術センタースパン表により規格化しています。	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: お施主様の要望に応える形としているので提案はしているが統一はしていません。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 住宅設備に関しては勉強会を行い数社に絞って設定している。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 調達ルートは商品に合わせて共同化しています。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 定例会で提出する報告書に翌月使用する資材表を添付する。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建材メーカー担当者を交えた意見交換会・勉強会を実施し、スムーズな生産体制と品質維持に努める。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で地域型住宅に使用する機器を絞り込み、マニュアル化することで施工ミスを起こさない体制を整える。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内施工者を対象とした現場見学会・説明会を開催し、会内での知識・認識を深めることで住宅生産体制の整備に努めます。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 対象となる住宅に関し、構成員が施工状況の共有を行いお互いにチェックできる体制を整える。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内での標準見積書を作成し、積算手法をマニュアル化する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: SNSなどを利用し、施工状況を公開することで一般消費者が抱える地域施工業者への不安を払拭できるよう努める。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	住宅設備機器を数社に絞り施工ミスを防ぐ。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 仙南匠の家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県・福島県沿岸部
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 仙南建築匠会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0122-0102	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通仕様による維持保全計画・点検マニュアルでのチェック体制を一元化している。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて保管。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報に点検箇所を記載し期間を定め義務化している。	◎
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 現在検討中。	
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会で提出する報告書を添付する。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まい手による自主点検等維持管理のためのコーチングセミナーを開催している。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅内覧会の際に相談会を開催している。	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 現在検討中。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 自主点検用の管理マニュアルに施工担当者の直通電話を記載し問い合わせできる。	◎
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報は20年間事務局で保管。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵が発生した場合に備え、対応マニュアルを作成し、引き渡し時には重要事項説明を義務化。	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で未経験工務店への設計・施工の技術交流会の開催。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内工務店の設計・施工の技術交流会の開催。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 現在検討中。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局もサポート体制を充実させ長期優良住宅を増やし仙南建築匠会を地域に浸透させます。	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で知識・見識を深め、どの事業者も均一な施工レベルを保つ。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 現在検討中。	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 2 今年度の参加目標人数 4	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 2 今年度の参加目標人数 4	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会での参加呼びかけ。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカー担当者から勉強会並びに新商品説明会を開催。	◎
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: LVLやCLTなど今後の木造見学や製材行程・プレカット工場の見学ツアーの開催。	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 グループ内で積極的な現場公開する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 仙南匠の家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県・福島県沿岸部	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 仙南建築匠会	(結成年) 2012年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0122-0102		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成29年度対応方針】			
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	柱は福島県産材を100%使用する。梁・桁などの大断面のものは強度的な不安も拭えないことから横架材はJAS認定材で強度等級の明示されている合法木材のものを使用する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	■ 50%未満 □ 50%以上 □ 80%以上	○
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: ■ 使用していない □ 使用している 主要構造材 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: ■ 使用していない □ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等: □ 使用していない ■ 使用している	
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	当グループは主に宮城県南部に位置しており、福島県と隣接していることから地産地消の考えから、福島県産を積極的に利用する。グループ地域に近い、福島県産材を利用することで輸送エネルギーの大幅な削減が期待できる。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	■ ない □ ある → 内容: 現在検討中。	
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない ■ ある → 内容: 原木供給、製材、流通の縦ラインと定期的な意見交換を行い、安定的な在庫量、価格を維持します。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域型住宅以外の建物にも地域材を積極的に使用し年間10%づつ需要を上げていく。	○
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 50枚	○
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 20枚	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 20枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 現在検討中。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 特になし。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: この地域は年間を通して温暖な気候の土地で、瓦屋根の美しい景色がたくさんありましたが震災で一変しました。もう一度この景色に戻せるように取り組んでいきます。	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 高齢者と若者世代が住みよい住宅へのアプローチ、プライバシーを重視しつつも、住まい手の気配感じられる住宅を目指します。	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域風土を意識して一体感ある街並みづくりで復興の一助とし、グループの特徴ある外観に努める。	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 昔からこの地域に多い軒の出が大きい日射遮蔽のある屋根のつくりとします。	◎
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他			
【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	私たちの地域では災害移転地の引き渡しもほぼ完了しました。これからは地域の新たなあり方を創造し年間を通して温暖な気候の土地柄や、瓦屋根の美しい景色を残しながら現代の住宅事情にあわせ、昔からの地にあった風景をグループ全体で作りに上げていきます。	◎
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	現在検討中。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 仙南匠の家	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県・福島県沿岸部
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 仙南建築匠会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0122-0102	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。